



HPはこちら

2022年3月ダイヤ改正について 新幹線統括本部に申し入れを提出

東日本ユニオンは、2021年12月23日に新幹線統括本部より「2022年3月ダイヤ改正」の提案を受け、組合員と議論・検討する取り組みを進めてきました。

組合員からは「乗務員区所から新幹線車両センター間における自動車便乗の廃止」や「折り返し時間の変更」など、これまでの労働環境が変わることについて「安全」「健康」「ゆとり」の視点から多くの意見が寄せられました。

私たち東日本ユニオンは4項目の要求にまとめ、1月24日、幹申第3号『2022年3月ダイヤ改正について』に関する申し入れを新幹線統括本部に提出しました。

<幹申第3号・申し入れ項目>

- 以下の箇所について、2022年3月ダイヤ改正での折り返し時間におけるモデル時間及び指定通路を明らかにするとともに、足りない折り返し時間は増とすること。
 - 東京新幹線車両センターでの着発線～庫線、庫線～着発線への出入区時間
 - 上中里駅下車～東京新幹線車両センター一点呼箇所までの時分
- 新潟新幹線車両センターにおいて乗務員休養室を使用する際、休養室から一点呼箇所までの移動時間としてこれまでと同様7分を付加すること。
- 豊野駅～長野新幹線車両センターへの徒歩による移動は現行のまま自動車便乗とすること。
- 新潟新幹線運輸区～新潟新幹線車両センターへの便乗は、現行のまま回送列車又は自動車便乗とすること。

「安全・安定輸送」が確保できる



乗務員行路を実現しよう

